

2020 年度事業報告

【新型コロナウイルスの感染拡大防止の対応について】

新型コロナウイルスの感染拡大に際して、2020年4月20日から5月末にわたって、電話・チャットなどの業務を休止し、6月の電話も1回線に対応しました。インターン・継続研修は8月まで休止。第17期養成研修も開始予定を2か月遅らせて9月8日から、研修回数も通常12回を8回に短縮して実施しました。

理事会や運営委員会、各部などの会議開催もオンライン会議ZOOMを利用して行いました。

事務局、電話室の感染対策として、スタッフの手洗い励行やマスク着用、部屋の人数制限、室内換気と消毒など衛生管理を徹底し、空気清浄機の無償借り受けや加湿器の購入など感染防止に努めました。感染対策の経費について、消毒液などの消耗品や駐車料金など厚労省の助成制度を活用しました。また、感染者が発生した場合や入居ビル内で発生した場合の対応や連絡体制の確立など取り組みました。

【事業に関する報告】

I 子ども専用電話の開設事業

1 電話受信状況 (2020年4月1日から2021年3月31日まで)

専用電話の開設日は、平日の毎週月曜と水曜に加え、第2日曜の午後4時から9時までの時間帯で実施しましたが、新型コロナウイルスの感染拡大で、緊急事態宣言等の状況や支援センターとも協議しながら5月の開設は休止し、また3密対策として電話回線を原則1回線として対応してきました。

2019年度の開設日数は、延べ97日(前年度91日)で、総着信数3,888件(同6,286件)、会話成立は878件(同1,206件)です。1開設日当たりでは、着信数が40.1件(同69.1件)で、会話成立数は9.1件(同13.3件)です。

各月の受信状況、年齢層等については、以下の表のとおりです。

〔第1表 電話受信件数〕

	①総着信数	②総通話時間数	③会話成立	その他 (①-③)
2020年4月	348	1,422.0	59	289
5月	0	0	0	0
6月	361	1,873.5	89	272
7月	371	2,016.5	88	283
8月	338	1,602.0	58	280
9月	299	2,398.5	81	218
10月	448	2,596.0	107	341
11月	391	2,296.5	82	309
12月	310	1,817.0	85	225
2021年1月	301	1,318.5	54	247
2月	310	1,559.0	74	236
3月	411	2,158.5	101	310
総計	3,888	21,058.0 (350時間58分)	878	3,010

注：2020年5月は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため休止

注：会話成立 1 件平均通話時間 24.0 分

注：194 シフト中 176 シフトは 1 回線にて実施

〔第 2 表 年齢層〕 *発語有で会話不成立はふくまれません

年齢	男の子	女の子	不明	合計
未就学	1	1	1	3
小学生 (低学年)	16	47	0	63
小学生 (高学年)	28	68	1	97
中学生	75	104	2	181
中卒～18 歳	261	252	5	518
不明	9	5	2	16
合計	390	477	11	878
会話不成立	405	102	84	591
発語なし	—	—	2,419	2,419
総着信件数	795	579	2,514	3,888

年齢：小学生 (高) 11.0% 中学生 20.6% 中卒～18 59.0%

性別：男の子 44.4% 女の子 54.3%

〔第 3 表 電話の主訴 (会話成立のみ)〕

	未就学	小学生		中学生	中卒～18 歳	不明	合計
		低学年	高学年				
学校・フリースクール	2	33	47	60	106	2	250
部 活	0	0	1	3	12	0	16
性	0	1	1	17	55	2	76
家 庭	0	7	17	24	48	2	98
職 場	0	0	0	0	6	0	6
ネットトラブル	0	1	1	3	11	0	16
地 域	0	0	1	2	9	0	12
自 分	1	21	29	72	271	10	404
合計	3	63	97	181	518	16	878

各年齢とも「自分」が多く 全体の 46.0% 次に「学校・フリ」28.5%

〔表 4 表 関係性 (会話成立のみ)〕

	未就学	小学生		中学生	中卒～18 歳	不明	合計
		低学年	高学年				
友人・知人	2	23	30	34	79	3	171
恋 人	0	2	0	3	12	0	17
先輩・後輩	0	1	3	3	11	0	18
同 僚	0	0	0	0	1	0	1
実 父	0	2	6	5	10	2	25
実 母	0	3	7	14	30	0	54
養 父	0	0	0	1	2	0	3
養 母	0	0	0	0	1	0	1
きょうだい	0	3	2	6	7	0	18
義理のきょうだい	0	0	0	1	2	0	3
祖 父	0	0	0	1	1	0	2
祖 母	0	0	1	0	5	0	6
先 生	0	1	4	4	11	0	20

顧問・指導者	0	0	0	1	3	0	4
近所の人	0	0	0	0	1	0	1
施設職員	0	0	0	1	1	0	2
知らない人	0	2	1	3	6	0	12
自分自身のこと	1	24	43	104	329	11	512
その他	0	2	0	0	6	0	8
合計	3	63	97	181	518	16	878

各年齢ともに「自分自身」が多く全体では58.3% (昨年48.9%)

次に「友人・知人」19.5% (昨年23.9%)

[第5表 かけ手の動機 (会話成立のみ)]

	未就学	小学生		中学生	中卒～ 18歳	不明	合計
		低学年	高学年				
話を聴いてほしい	3	51	73	142	430	10	709
答えが欲しい	0	11	18	37	68	1	135
誰かとつながっていたい	0	0	3	0	14	1	18
お試し	0	1	2	2	3	3	11
社会資源情報を求める	0	0	0	0	0	0	0
実際に動いて欲しい	0	0	1	0	0	0	1
チャイルドラインについて	0	0	0	0	0	1	1
その他	0	0	0	0	3	0	3
合計	3	63	97	181	518	16	878

「話を聴いてほしい」80.8% (昨年77.6%)

[表6表 気持ち (会話成立のみ)]

	未就学	小学生		中学生	中卒～ 18歳	不明	合計
		低学年	高学年				
うれしい・たのしい	0	4	6	7	18	0	35
幸せ	0	0	0	1	3	0	4
楽しみ・期待	0	0	2	3	7	0	12
満足・充実感	0	1	2	2	4	0	9
怒り・いらだち	0	1	0	5	26	0	32
憂鬱	0	6	9	13	20	2	50
不安	0	9	14	31	77	1	132
イヤだ	1	13	11	24	43	1	93
疲れ	0	1	0	4	9	0	14
あきらめ	0	1	0	2	5	0	8
つらい・苦しい	0	1	9	22	54	2	88
悲しい	0	2	5	4	20	0	31
孤独・寂しさ	0	4	4	8	19	1	36
人目が気になる	0	0	0	1	10	1	12
自分に自信がない	0	3	2	2	11	0	18
恐怖・怖い	0	1	5	4	10	1	21
くやしい	0	1	4	1	9	0	15
困惑・困っている	1	7	11	27	93	2	141
葛藤・迷い・戸惑い	0	5	4	14	47	1	71
傷つきたくない	0	0	0	0	4	0	4
傷つけたくない	0	0	1	0	3	0	4

不明	1	2	3	3	13	2	24
その他	0	1	5	3	13	2	24
合計	3	63	97	181	518	16	878

「不安」「つらい・苦しい」「困惑・困っている」合計 41.1% (昨年 43.2%)

[第7表 かけ手の端末]

端末	総着信数	会話成立
携帯・PHS	3,145	710 (80.9%)
固定・公衆	741	167 (19.0%)
不明	2	1 (0.1%)
合計	3,888	878 (100%)

2 電話開設従事者数

電話開設に伴う従事者については、1開設日につき2時間30分ごとの2シフトとし、1シフト当たり「受け手3人」「支え手1人」をこれまで基本としてきましたが、今年度は新型コロナウイルス感染防止対策として、1回線の実施としました。2回線実施シフトは18回にとどまっています。また、新支え手が担当時2名体制で実施の日もありました。事務局員については電話開設日を活動日とし、電話室の管理等行ってきました。

(2021年2月より第3金曜日にも事務局開設)

2020年度のシフト配置状況については、以下のとおりです。

[シフト配置状況]

	開設日数	Aシフト		Bシフト	
		受け手	支え手	受け手	支え手
2020年4月	6	11	6	10	6
5月	休止	0	0	0	0
6月	10	14	10	16	10
7月	10	19	10	14	10
8月	9	22	9	17	9
9月	9	18	9	17	9
10月	9	19	10	17	10
11月	9	19	9	17	10
12月	8	18	8	11	8
2021年1月	7	11	7	8	7
2月	9	14	9	16	9
3月	11	19	11	18	11
合計	97	184	98	161	99

※受け手にはインターンを含む

3 オンラインチャットの施行状況

トライアルチームにより年間通して実施予定であったが、2020年4月末から5月にかけて新型コロナ感染拡大防止のため、受信活動を休止した。6月より再開し、10月には一般社団法人馬主協会とCOOPの助成金により、パソコンを5台購入、支援センターからの借出しの返却ができた。11月には、新規受け手養成研修に取り組み(受け手4名増加)、月3回の実施となっている。

2021年2月にこれまでのトライアルのデータ集計を行い、報告書を作成した。受け手・支え手に配布とともに、オンラインチャットに対するアンケート調査を実施。3月末でア

アンケートを回収し集計後、報告書に追加するとともに、トライアルの総括と今後の課題をまとめ、総会に提案する予定である。

チャットトライアルの受信状況は以下の通りです。

〔第1表 チャット受信件数〕

※チャイルドラインほっかいどう実施日の件数

実施日	総訪問者	書込み数	全国対応数	対応率%	自団体割当数	自団体応件数	対応率%	会話成立数	端末		平均会話時間
									携帯	PC	
4月①	261	94	47	50.0%	30	20	66.7%	16	11	5	35.7分
4月②	438	126	47	37.3%	26	13	50.0%	10	9	1	48.1分
6月①	387	107	92	86.0%	23	16	69.6%	13	11	2	32.6分
6月②	326	139	63	45.3%	41	24	58.5%	15	11	4	39.2分
7月①	404	158	73	46.2%	43	26	60.5%	17	15	2	32.4分
7月②	326	145	56	38.6%	52	29	55.8%	17	12	5	33.4分
8月①	466	166	71	42.8%	50	20	40.0%	17	13	4	33.1分
8月②	455	202	86	42.6%	45	24	53.3%	16	11	5	33.6分
9月①	387	147	100	68.0%	18	16	88.9%	14	10	4	35.6分
9月②	330	139	69	49.6%	26	18	69.2%	14	10	4	36.0分
10月①	350	134	59	44.0%	29	17	58.6%	9	9	0	41.0分
10月②	404	160	103	64.4%	20	17	85.0%	14	12	2	28.9分
10月③	364	137	59	43.1%	27	14	51.9%	8	6	2	45.6分
11月①	367	136	65	47.8%	28	19	67.9%	15	11	4	29.3分
11月②	290	111	85	77.6%	11	10	90.9%	8	6	2	30.9分
11月③	344	138	80	58.0%	23	19	82.6%	13	6	7	26.9分
12月①	506	200	107	53.5%	35	21	60.0%	15	13	2	27.8分
12月②	355	143	63	44.1%	48	25	52.1%	15	13	2	23.6分
12月③	329	110	70	63.6%	21	17	81.0%	10	9	1	38.7分
1月①	312	120	68	53.1%	28	15	53.6%	13	9	4	30.8分
1月②	340	132	65	49.2%	33	16	48.5%	13	12	1	32.6分
1月③	431	200	71	35.5%	31	18	58.1%	13	10	3	38.8分
2月①	445	188	84	44.9%	21	14	66.7%	11	9	2	38.7分
2月②	409	163	81	49.7%	47	25	53.2%	16	15	1	27.1分
2月③	360	144	76	52.8%	24	13	54.2%	12	8	4	32.5分
3月①	426	206	91	55.8%	41	26	63.4%	16	9	7	23.8分
3月②	380	155	69	55.5%	43	24	55.8%	14	6	8	36.7分
3月③	385	143	62	56.6%	34	19	55.9%	16	12	4	31.9分
合計	—	—	全国年間	60.2%	898	522	58.1%	380			

全国対応数：実施日の参加団体数及びPC稼働台数により変化

自団体割当数：PC稼働台数に合わせて開設団体へ自動的に割り当てされる数

※ 会話成立 データ入力 372 件より

〔第2表 年齢層〕

年齢	男の子	女の子	不明	合計
未就学	0	0	0	0
小学生 (低)	2	1	4	4
小学生 (高)	8	9	4	105
中学生	11	12	1	134
中卒～18歳	2	3	9	21
不明	1	5	2	8

合計	45	316	11	372
----	----	-----	----	-----

年齢：小学生(高) 28.2% 中学生36.0% 中卒～18 32.5%

性別4：男の子12.1% 女の子84.9%

[第3表 チャットの主訴]

	未就学	小学生		中学生	中卒～ 18歳	不明	合計
		低学年	高学年				
学校・フリースクール	0	2	37	50	30	3	122
部活	0	0	0	6	6	0	12
性	0	0	4	6	6	1	17
家庭	0	0	19	13	14	2	48
職場	0	0	0	0	1	0	1
ネットトラブル	0	0	2	4	2	0	8
地域	0	0	1	0	0	0	1
自分	0	2	42	55	62	2	163
合計	0	4	105	134	131	8	372

各年齢とも「自分」のことが多く全体では、43.8% 次に「学校・フリ」32.8%

[表4表 関係性]

	未就学	小学生		中学生	中卒～ 18歳	不明	合計
		低学年	高学年				
友人・知人	0	2	21	38	27	3	99
恋人	0	0	0	2	4	0	6
先輩・後輩	0	0	0	2	1	0	3
同僚	0	0	0	0	1	0	1
実父	0	0	4	3	2	1	10
実母	0	0	13	11	13	2	39
養父	0	0	1	0	0	0	1
養母	0	0	0	0	1	0	1
きょうだい	0	0	3	1	1	0	5
義理のきょうだい	0	0	0	0	0	0	0
祖父	0	0	0	0	1	0	1
祖母	0	0	1	0	0	0	1
先生	0	0	3	10	3	0	16
顧問・指導者	0	0	0	0	1	0	1
近所の人	0	0	0	0	0	0	0
施設職員	0	0	0	0	0	0	0
知らない人	0	0	2	1	2	0	5
自分自身のこと	0	1	48	65	62	1	177
その他	0	1	1	1	2	1	6
合計	0	4	105	134	121	8	372

各年齢共に「自分自身」が多く全体では、47.6% 次に「友人・知人」26.6%

[第5表 かけ手の動機]

	未就学	小学生		中学生	中卒～ 18歳	不明	合計
		低学年	高学年				
話を聴いてほしい	0	4	88	111	102	6	311

答えが欲しい	0	0	9	16	12	0	37
誰かとつながっていたい	0	0	2	5	2	0	9
お試し	0	0	6	2	5	2	15
社会資源情報を求める	0	0	0	0	0	0	0
実際に動いて欲しい	0	0	0	0	0	0	0
チャイルドラインについて	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	4	105	134	121	8	372

「話を聴いてほしい」83.6%

[表6表 気持ち]

	未就学	小学生		中学生	中卒～18歳	不明	合計
		低学年	高学年				
うれしい・たのしい	0	0	4	4	0	0	8
幸せ	0	0	0	0	0	0	0
楽しみ・期待	0	0	0	0	1	0	1
満足・充実感	0	0	0	1	0	0	1
怒り・いらだち	0	0	5	7	3	1	16
憂鬱	0	0	9	6	13	1	29
不安	0	0	17	24	13	0	54
イヤだ	0	1	12	9	8	3	33
疲れ	0	0	0	1	4	0	5
あきらめ	0	0	2	0	0	0	2
つらい・苦しい	0	0	13	32	38	1	84
悲しい	0	0	5	4	3	0	12
孤独・寂しさ	0	0	2	0	0	0	2
人目が気になる	0	0	2	3	0	0	5
自分に自信がない	0	0	3	8	3	0	14
恐怖・怖い	0	0	5	6	4	1	16
くやしい	0	0	2	3	0	0	5
困惑・困っている	0	1	13	14	9	0	37
葛藤・迷い・戸惑い	0	0	2	6	9	1	18
傷つきたくない	0	0	0	0	0	0	0
傷つけたくない	0	0	0	0	0	0	0
不明	0	1	0	0	0	0	1
その他	0	1	9	6	13	0	29
合計	0	4	105	134	121	8	372

「つらい・苦しい」22.6% 「不安」14.5% 「困惑・困っている」9.9%合わせると47.0%

[第7表 かけ手の端末]

端末	会話成立	割合
Chat/PC	89	23.9%
Chat/携帯	283	76.1%
合計	372	100%

[シフト配置状況]

<受け手・支え手担当状況>

	受信 日数	前半		PC稼 働台数	後半		PC稼 働台数
		受け手	支え手		受け手	支え手	
2020年4月	2	4	2	4	4	2	4
5月	休止	0	0	0	0	0	0
6月	2	6	2	6	4	2	4
7月	2	6	2	6	4	2	4
8月	2	5	2	5	5	2	5
9月	2	6	2	6	5	2	5
10月	3	7	3	7	6	3	6
11月	3	6	3	6	6	3	6
12月	3	6	3	6	6	4	6
2021年1月	3	6	3	6	6	3	6
2月	3	6	3	6	6	3	6
3月	3	6	3	6	6	3	6
合計	28	64	28		58	29	

2020年12月には新規受け手担当時、支え手2人体制を組んだ

II 研修事業

1 受け手16期インターン研修

期 間： 2020年1月14日～9月1日

場 所： ZOOM

受講生： 8名

回	月 日	内 容	講 師	会 場
1	2020年 4月7日(火)	講義「子どもの現状」 生きづらさを抱える子どもたち	休止	
2	4月21日(火)	ロールプレイ3	休止	
3	9月1日(火)	インターン研修を終えて	代表理事 田辺 毅彦	ZOOM

2 第17期 受け手養成研修

募集期間： 2020年4月1日～6月15日

期 間： 2020年9月8日～12月3日

研修場所： ZOOM

受講生： 9名

回	月 日	内 容	講 師
1	9月8日(火)	開講式・オリエンテーション 講義「チャイルドラインとは」	代表理事 田辺 毅彦
2	9月15日(火)	講 義 「子どもの人権について」	弁護士 増谷 康博
3	10月 6日(火)	ロールプレイ 1	臨床心理士 渡邊 洋平
4	10月27日(火)	ロールプレイ 2	
5	11月10日(火)	ロールプレイ 3	

6	11月17日(火)	ロールプレイ 4	
7	11月24日(火)	ロールプレイ 5	
8	12月1日(火)	電話をとるとのこと ～インターン研修の前に～	代表理事 田辺 毅彦

3 受け手 17 期インターン研修

期間： 2021年1月12日～6月22日

場所： 社会福祉総合センター・チャイルドラインほっかいどう事務局・ZOOM

受講生： 養成研修を終了しインターンとして認定された7名

回	月 日	内 容	講 師	会 場
1	2021年 1月12日(火)	オリエンテーション1	研 修 部	社会福祉総合センター
2	1月26日(火)	オリエンテーション2	研 修 部	事務局
3	2月16日(火)	講義「子どもの現状」 子どもたちは、今	スクールカウンセラー 中野 ひろみ	ZOOM
4	3月9日(火)	講義「子どもの現状」 思春期の性	江別市子育て支援 小田島一典	ZOOM

※ 2月より電話担当研修実施

※ 5回以降は、2021年度計画に記載

4 受け手継続研修

期 間： 2020年5月～2021年4月

場 所： 社会福祉総合センター・ZOOM

受け手： 24名で開始 8月より16期インターン研修認定者8名合流

【全体研修】 18:30～20:30

回	日 程	内 容	備 考
1	2020年 5月～8月	休 止	感染防止のため
2	9月18日(金)	認定式・組織説明	社会福祉総合センター
3	10月16日(金)	近況報告・コロナ対策	ZOOM
4	11月20日(金)	交流会	ZOOM
5	2021年4月23日(金)	2020年度振り返り	

【第3木曜日グループ】開催時間18:30～20:30 / すべてZOOMで開催

回	日 程	内 容	担 当
1	2020年12月10日(木)	ボランティアと私	児玉代表理事
2	2021年1月21日(木)	振り返り・ロールプレイ	田辺代表理事
3	2月18日(木)	振り返り・ロールプレイ	羽原支え手部長
4	3月18日(木)	振り返り・ロールプレイ	田辺代表理事

【第2金曜日 グループ】開催時間18:30～20:30 / すべてZOOMで開催

回	日 程	内 容	担 当
1	2020年12月11日(金)	振り返り・ロールプレイ	羽原支え手部長

2	2021年1月8日(金)	ボランティアと私	児玉代表理事
3	2月12日(金)	振り返り・ロールプレイ	田辺代表理事
4	3月12日(金)	振り返り・ロールプレイ	羽原支え手部長

Ⅲ 広報啓発事業

1 「2020年度カード等全道配布事業」実施報告

チャイルドラインの電話番号(フリーダイヤル)や開設時間などを記載したカードを、道内の小学校、中学校、高校、特別支援学校に通う子どもたちを対象に、約56万枚配布しました。

カードの作成に当たっては、(株)北海道日本ハムファイターズ・ファイターズ基金から小学生用カード28万5000枚と中学生用カード14万枚の贈呈と、北海道新聞社からは高校生用カードと各高校への送付料(20万円)の支援を受けました。また、北海道新聞社会福祉振興基金から30万円の助成をいただきました。

配布に当たっては、北海道教育委員会と札幌市教育委員会に事前に協力を依頼し、市町村立校については道内179市町村教育委員会に送付し、道立、国立、私立校には直接送付しました。また、札幌市の児童会館(小学校併設のミニ児童会館を除く)にも配布しました。広報誌(2020年版)を編集発行し、配布しました。

(配布枚数)

【小学校・中学校】(児童生徒数は、2019年度学校基本調査による)

	小学校			中学校			
	学校数	児童数	配布枚数	学校数	生徒数	配布枚数	
総数	1,004	240,008	258,380	584	125,101	134,740	
内訳	市町村立	997	238,257	256,480	565	120,697	129,980
	道立				1	226	250
	国立	4	1606	1,710	4	1,273	1,350
	私立	3	145	190	14	2,905	3,160

※1 小学校と中学校の「市町村立」には義務教育学校(11校)と児童生徒数、配布枚数を含む

※2 小学校と中学校の「私立」には小中一貫校(1校)と児童生徒数、配布枚数を含む

※3 中学校の「市町村立」には中高一貫校(1校)と生徒数、配布枚数を含む

※4 中学校の「道立」には中高一貫校(1校)と生徒数、配布枚数を含む

【高校・特別支援学校】(児童生徒数は、2019年度学校基本調査による)

	高校			特別支援学校			
	学校数	生徒数	配布枚数	学校数	児童生徒数	配布枚数	
総数	284	123,084	136,290	69	6,012	7,420	
内訳	市町村立	31	11,516	12,340	4	305	460
	道立	194	81,345	86,710	63	5,629	6,860
	国立				1	59	70
	私立	51	30,223	31,880	1	19	30
	通信制	8	—	5,360			

※1 高校の「市町村立」には中高一貫校(1校)と生徒数、配布枚数を含む

※2 高校の「道立」には中高一貫校(1校)と生徒数、配布枚数を含む

※3 特別支援学校のうち「肢体不自由等」以外の児童生徒には、ルビ付きのカードを送付した

※4 盲(視覚障害支援)学校(4校)の児童生徒には、「点訳カード」と「墨字カード」を配布した。

※5 聾学校7校(併設の釧路鶴野支援学校を含む)の児童生徒には「チャット専用カード」を配布した。

【札幌市児童会館】

札幌市児童会館のうち小学校に併設しているミニ児童会館を除く 108 館に、200 枚ずつ配布した。配布に当たっては、事前に「さっぽろ青少年女性活動協会」に協力をお願いしました。

(事業収支決算)

(収入=699,932 円)

助成金	500,000 円 (760,000)	北海道新聞社会福祉振興基金 300,000 円 北海道新聞社 200,000 円
本会支出金	199,932 円 (8,725)	広報誌広告料

(支出=699,932 円)

カード印刷費	193,750 円 (228,000)	高校生用、特別支援学校用、点訳カード
ポスター代	148,478 円 (152,820)	チャイルドライン支援センターから購入
広報誌印刷費	68,000 円 (75,000)	4000 部
通信運搬費	248,292 円 (210,737)	宅急便、郵送分
発送作業費	41,412 円 (102,168)	袋詰め作業に関する経費と消耗品

※ 小中生用カードは、(株)日本ハムファイターズ・ファイターズ基金から現物寄付

※ 勘定科目のカッコ内は今年の金額

(取組経過)

- 5 月 19 日 赤い羽根共同募金助成申請提出 (承認)
- 7 月 2 日 北海道日本ハムファイターズへカード配布に関する依頼
- 7 月 17 日 北海道新聞社へカード配布に関する助成の依頼
- 8 月 7 日 広報誌編集委員会
- 8 月 27 日 北海道、北海道教委、札幌市、札幌市教委へ名義後援申請
- 9 月 7 日 日本郵便(株)に発送費の見積依頼
- 9 月 30 日 北海道西濃運輸株に発送費の見積依頼
- 11 月 30 日 北海道教育庁学校教育局生徒指導・学校安全課、札幌市教育委員会児童生徒担当課に配布の依頼
- 11 月 11、17、19、20、24、26、27 日
ポスターの折り込み作業と、道内教育委員会 (札幌市を除く市町村立小学校、中学校、高校) 分の封筒詰め等作業
- 11 月 30 日 道内教育委員会 (札幌市を除く市町村立小学校、中学校、高校) 分を発送 (178 カ所・約 26 万枚)
- 12 月 6 日 北海道日本ハムファイターズ
- 12 月 8、15、17 日
国・私立小中学校、高校 (市町村立を除く)、特別支援学校及び札幌市立の小学校、中学校、高校、札幌市児童会館分の封筒袋詰め等作業
- 12 月 10 日 さっぽろ青少年女性活動協会に、児童会館へのカード配布とポスター掲示を依頼
- 12 月 17 日 札幌市教育委員会分を発送 (312 カ所・約 14 万枚)
- 12 月 18 日 国・私立小中学校、高校 (市町村立を除く)、特別支援学校及び札幌市児童会館分を発送 (455 カ所、約 16 万枚)

(参考)

カード印刷費の内訳		
高校生用カード	170,500 円	(14 万枚)
特別支援学校 (小学部用)	5,500 円	(1 千枚)
特別支援学校 (中・高等部用)	14,300 円	(5 千枚)
墨字カード (弱視者用)	3,450 円	(150 枚)
通信運搬費の内訳		
宅急便	197,192 円	(484 個) 旭川、函館市は 2 個口
郵便代	51,100 円	(160 通) 広報誌発送分 (9 通) を含
ポスター発注枚数		
小学校用 (黄色 子ども版)	1,350 枚	
中学校用 (緑 野球版)	830 枚	
高校用 (クリーム 生徒版)	360 枚	
単価はいずれも 55 円・送料 8,778 円		

【運営に関する報告】

I 会議の開催状況

1 総会の開催

2020 年度 (第 19 回) 通常総会

(2020 年 6 月 12 日 みたか南一ビル会議室)

新型コロナウイルスの感染防止の観点から、正会員には委任もしくは書面表決での議決を依頼。出席 4 人、委任 46 人、書面議決 25 人により 2019 年度事業報告、同収支決算報告、同会計監査報告、2020 年度事業計画、同予算、役員選出のすべての議案を可決しました。

2 理事会

開催状況は、以下のとおりです。

第 1 回 2020 年 5 月 8 日 オンライン会議 ZOOM で開催

- ・ 2020 年度 (第 19 回) 通常総会の開催について
- ・ 総会提出議案について

第 2 回 2020 年 12 月 8 日 オンライン会議 ZOOM で開催

- ・ 2020 年度活動予算の補正
 - …チャット用 PC の購入、カード等配布の経費等で助成金が確定したため
- ・ 弔慰金規程の制定
 - …逝去された正会員には「弔電」、役員や受け手も含めた各部の部員には 5 千円の「弔慰金」を支出することとした

(2021 年度)

第 1 回 2021 年 4 月 28 日 オンライン会議 ZOOM で開催

- ・ 2021 年度 (第 20 回) 通常総会の開催について
- ・ 総会提出議案について

3 運営委員会

本会業務の円滑化を図ることを目的とした運営委員会について下記のとおり開催しました。主な審議事項は以下のとおりです。なお、開催はすべてオンライン会議 ZOOM で行いました

第1回 2020年4月7日

- ・2020年度(第19回)通常総会の開催について

臨時運営委員会 2020年4月17日

- ・新型コロナウイルスの感染拡大防止の取組み
- ・2020年度(第19回)通常総会の開催について

第2回 2020年5月7日

- ・2020年度通常総会開催に向けて

第3回 2020年6月19日

- ・運営委員会の新体制について
- ・厚労省新型コロナ対策助成申請について

第4回 2020年7月17日

- ・支援センター総会について

第5回 2020年8月28日

- ・コロナウイルス勉強会について
- ・11月の全体研修に向けて

第6回 2020年9月25日

- ・電話機の購入について
- ・チャット用PCNの購入について

第7回 2020年10月23日

- ・11月の全体研修の進行について
- ・理事会開催について

第8回 2020年11月19日

- ・全体研修の進行について
- ・理事会の提出議案について

第9回 2020年12月17日

- ・感染報告時の連絡体制について

第10回 2021年1月29日

- ・事務局員の活動日について(2月から第3金曜を追加)

第11回 2021年3月5日

- ・2021年度通常総会開催に向けて
- ・理事の追加について

(2021年度)

第1回 2021年4月15日

- ・2021年度(第20回)通常総会の開催について

4 全体研修の開催

2020年11月20日、受け手15人と運営関係11人が参加し、運営委員会各部からの取り組み報告とそれに対する質問など意見交換を行いました。会議は、感染防止のためオンライン会議ZOOMで開催しました。

5 チャイルドライン支援センター・エリア関係

- (1) 支援センター総会 7月28日 書面評決
- (2) エリア会議 5月16日 ZOOM (水口)
10月4日 ZOOM (田辺代表)
12月27日 ZOOM (田辺代表)
2021年3月28日 ZOOM (田辺代表) 計4回
- (3) エリア支え手研修 2月28日 ZOOM 支え手7名参加
- (4) オンラインチャット全国運営者会議 12月21日 ZOOM (田辺代表・水口)
- (5) 情報セキュリティ全国研修 3月6日 ZOOM (水口)

<水口良子常務理事(支援センター)関係>2020年4月~2020年7月28日退任まで

- (1) 総会 7月28日 書面評決 ZOOM 理事退任
- (2) 理事会 4月11・29日、5月17・19・25日、6月13・30日 ZOOM 計7回
- (3) 「ネット電話」打ち合わせ 4月17日、5月2日、 ZOOM 計2回
- (4) オンラインマネジメントチーム会議 4月24日・29日 ZOOM 計2回
- (5) オンラインチャット団体研修 東京CL中野 事前研修 5月23・24日 ZOOM
東京CL中野 チャットサポート 6月4日

II 会員等の状況

2019年度中の正会員は、第16期受け手のほか札幌トラストライオンズクラブの会員など新たに25人が加入しました。各会員の増減状況は下記のとおりです。サポート会員の1人は正会員へ、一般会員(個人)の1人はサポート会員に移動しています。

【2019年度各会員数の状況】

	2020年4月初	2021年3月末	加入・退会者	増減
正会員	100人	124人	(加入)25人 (退会)1人	24人増
一般会員・個人	16人	15人	(サポート 会員に)1人	1人減
一般会員・団体	15団体	14団体	(退会)1団体	1団体減
サポート会員	52人	52人	(加入)1人 (正会員に)1人	増減なし

III その他

1 第16期受け手認定と支え手養成研修の実施

第16期養成研修とインターン研修を修了した8人を新たな受け手として認定しました。また受け手の中から新たな支え手を養成する研修を初めて実施し、5人の支え手が誕生しました。支え手養成研修は、①受け手として3年以上の経験があり②電話担当と受け手継続研修の出席を5割以上満たしていることを条件に、講義形式の研修を1回と3回の実習を実施しました。

9月18日に、新たな受け手と支え手の認定式を開催しました。

2 札幌トラストライオンズクラブからの支援

一昨年の「チャイルドライン募金箱」の作成と設置に引き続き、2020年度は会員全員がチャイルドラインほっかいどうの正会員に加入していただきました。また同クラブの会報に「チャイルドライン活動の特集を掲載し、今年度はチャイルドライン活動を広めるためのDVDを制作する取り組みを進めていただいています。当会としても、「キッズ空手大会」など同クラブ主催の活動に参加するなど、連携を強めていきます。

3 「チャイルドラインの歌（ほっかいどう）」

小樽出身でニューヨークを中心に世界的に活躍しているジャズピアニストで作曲家の野瀬栄進さんが、チャイルドラインを音楽を通して応援しようと「チャイルドラインの歌（ほっかいどう）」作詞作曲していただきました。

当会では、ホームページへの掲載やCDの貸し出しも予定しています。また、野瀬さんの主宰するミニコンサートなどの紹介も行っています。

「チャイルドラインの歌（ほっかいどう）」（歌詞）

いつでもいいから ねえ はなしてみてね
だれもが きみをまっているから うん いつでもいいからねー
きっと そお はなしてみると きもちがはれるから
いっしょに あそぼ
チャイルドライン チャイルドライン ChildLine チャイルドライン！！

4 支援団体関係

(2019年)

- ・7月2日 北海道日本ハムファイターズにカード作成依頼（水口、早崎、川下）
- ・7月18日 北海道新聞社に高校生用カード等の助成要請（児玉、水口）
- ・10月10日 ジャズピアニスト（作曲家）の野瀬栄進さんと打ち合わせ
（児玉、早崎、伊藤（元））
- ・10月21日 札幌トラストライオンズクラブ例会（児玉、早崎）
- ・11月5日 札幌ライオンズクラブ例会（児玉）
- ・12月6日 北海道日本ハムファイターズ・カード贈呈式（早崎・川下）

(2021年)

- ・2月18日 札幌トラストライオンズクラブとDVD制作の打ち合わせ（児玉、早崎）
- ・3月3日 札幌トラストライオンズクラブ「キッズ空手道大会」（早崎、井上）
- ・3月9日 札幌トラストライオンズクラブ例会（児玉・早崎）
- ・3月15日 札幌トラストライオンズクラブ関係団体の会議（児玉）

5 助成金・寄付金

2020年度の助成金、寄付金を受領した団体は以下の通りです。

(助成金)

- ・北海道新聞社会福祉振興基金 300,000円（カード等配布事業）
- ・北海道新聞社 200,000円（カード等配布事業）
- ・COOP さっぽろ地域福祉助成 100,000円
- ・中央競馬馬主協会 270,000円（チャット用PCの購入費）
- ・北海道地域活動振興協会 30,000円
- ・厚労省コロナ対策助成 103,515円

(寄付金・10万円以上)

- ・札幌インナーホイールクラブ 100,000円
- ・札幌南ロータリークラブ 100,000円
- ・立正佼成会 100,000円
- ・札幌ライオンズクラブ 100,000円

6 札幌市子どものための相談窓口連絡会議 (事務局・札幌市子どもの権利救済事務局)

- ・2020年7月 書面開催 (水口)
- ・2021年2月 書面開催 (水口)

7 SNSを活用した相談体制の検討事業連絡会議 (事務局・北海道教育委員会)

- ・2020年7月 書面開催 (水口)
- ・2020年10月 書面開催 (水口)

8 メディア等の取材

- ・2020年6月15日 NHK札幌放送局取材・放映
- ・2021年3月10日 HTB取材 (「イチオシ」で放映。取材は4日間)

IV 各部の活動報告

研修部

- ・各研修の企画運営、講師調整連絡、当日受付事務などの実施
- ・16期生認定式、交流会
- ・研修部会・・・毎月開催 2020年4/5・4/15・6/10・7/10・7/14・8/4・8/20・9/29・10/20
11/5・11/27・2021年1/19・2/26・3/26

電話部

- ・電話統計データの作成
- ・休務・辞退者及び復帰者の対応
- ・受け手誓約書の取り扱い
- ・受け手担当状況の把握
- ・全体会に関すること
- ・電話部会議開催
6月9日(月)・7月6日(月)・8月12日(水)・9月7日(月)
10月5日(月)・11月9日(月)・12月14日(月)・1月6日(水)
2月15日(月)・3月15日(月)
以上10回

オンラインチャットトライアルチーム

- ・「オンラインチャットの施行状況」参照 (実施内容報告)
- ・2020年10月 一般社団法人札幌馬主協会及びCOOPからの助成を受け、チャット専用パソコン5台購入
- ・11月 新規受け手養成研修実施: コロナ禍の為、ZOOMおよび人数制限のため日数を増やし実施 (受け手4名増)
事前研修 講義 11月7日 ZOOM (4名)

- 体験研修 11月23日(2名)・11月29日(2名)
- ・2021年2月 事後研修・継続研修 2月23日 ZOOM(6名) 2月26日 ZOOM(6名)
 - 3月 これまでの活動報告配布と「受け手・支え手」に対してアンケート調査
 - 4月 アンケート調査集計結果まとめ報告・配布
- 運営委員会にチャット事業化に向けた「総括・課題・提案」を報告・提案

広報部

- ・一般広報紙の作成・発行(2020年度版)
- ・リーフレットの作成(印刷納品は2021年度)
- ・ホームページの更新(更新等は社福法人HOPに委託)
- ・広報部会議開催
(広報誌編集委員会)8月7日

企画渉外部

- ・「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」
イオン札幌苗穂店・・・24,500円
店頭活動 コロナウイルスのため活動中止
マックスバリューフードセンター森林公園店・・・17,300円
- ・募金箱設置
新規・・・4件(函館小林様含め)
- ・トラストライオンズとの連携
※「キッズ空手道選手権大会」参加 広報活動・・・2名参加
※ DVD作成など打ち合わせ会議(3回)開催・・・児玉代表と参加
※ 例会参加 2回
- ・2020年新規会員増員キャンペーン
トラストライオンズクラブの全会員が正会員入会(昨年から含み22名)
- ・企画渉外部会議
3回開催
- ・助成金申請
札幌馬主協会 COOP さっぽろ

支え手会議

- ・支え手会議は3回行われた。(6月9日、9月4日、1月23日)
3回目の会議には9月に新たに認定された5名の支え手も参加し、支え手の役割について話し合い確認した。
- ・支え手養成研修(今川前代表講義) 4月22日(1名)、6月23日(1名) ZOOM(水口)
- ・支え手養成研修(支セ・水口担当分)8月25日(5名) ZOOM(羽原・長江・水口)

財務委員会

- ・2020年度発行の広報誌に名刺広告3件、企業広告39件を掲載し22万4千円(内寄付2万円)の収入を得た。
- ・札幌トラストライオンズクラブの例会に児玉代表理事、早崎企画渉外部長が2度出席し、募金箱を回して5万円強の募金をいただいた。
- ・札幌トラストライオンズクラブ会員、池田謙一弁護士が関係する会「エル・セブン」に児玉代表理事が出席し2万8千円の寄付を戴いた。